

6. 育苗

薄蒔きでガッチリした健苗を作り、薄植えて揃って強く健康な株にすることを目標とします。厚蒔き・太植え・多肥による伸び過ぎや急ぎ過ぎは、稲を弱く、倒れやすくし、食味も悪化させ、収量も低下させます。育苗～田植えの段階で、稲の体質の半ば以上が、すでに決定してしまいますから、しっかり苗を作りましょう。

A 種籾の準備

1.種子の入手	種籾は、本田10アール当り、小粒品種で2.5kg、大粒品種で3kg程度を準備します。
2.脱芒	蒔きムラなく薄蒔きをするには、脱芒機を使った脱芒が必要です。
3.種籾の選別 (比重選)	<ul style="list-style-type: none">●薄蒔きで揃って発芽・生育させるには、充実した種籾の選別(比重選)が重要です。特に前年に異常天候の場合や、カルシウム不使用の種籾は、痩せて軽い種籾を使わないよう、厳しく選別してください。●選別水は、硫安を使うと、当日溶かしてムラが無いので便利です。徐々に溶かして攪拌し、選別を繰返す際は時々比重を計って硫安を追加します。塩水選の場合は、前日溶かしておいてください。●脱芒したウルチ籾の場合、水10ℓに硫安2.8kg(食塩なら2.6kg)を溶かし、液の比重1.13である事を、比重計か、新鮮な鶏卵を入れて横向きに浮く事で確認します。
4.水洗い	選別後は水洗いして、高濃度害を防ぎます。その後、袋に詰め、8時間ほど水切りします。
5.種子消毒	バカ苗病、イモチ病、イネシンガレセンチュウなどの予防をします。

B 床土の準備

- 床土(培土)を自分で作る場合は、前年中に、山土や水田土(植壤土～壤土)を取り、ある程度乾燥させ、砕いて、4～6mmのフルイで篩います。蒸気消毒、肥料成分の添加、**田畑の大将<赤>**の添加をし、播種1週間前には調整して準備しておきます。
 - 床土の準備量は、箱詰め用土3.5ℓ、覆土1ℓ、計4.5ℓ、本田10アールに18枚で、80ℓほど。
 - 箱詰め用土に加える肥料成分は、1枚当りNPK各成分2g前後ですが、地域・温度などによって加減します。(20枚分、80ℓ当り600g程度となります。)(覆土は無肥料)
 - 自作の床土でも、購入した床土(水稲用培土)でも、カルシウム栄養が不足していますから、**田畑の大将<赤>**を補います。混合量は、肥料成分がある床土や温暖地では30g/1枚、寒冷地で肥料成分が効いていない場合は20g/1枚程度が適当です。
- カルシウム栄養が効くと、徒長せずガッチリした健苗が育成でき、ムレ苗、苗立枯れにも抵抗性が強くなります。また**田畑の大将<赤>**は、酸性のカルシウムなので、適正pH4.5～5.5にpH調整もします。別のpH調整剤は不要です。

C 粳の催芽～播種

1.浸種	種粒に吸水させて発芽を促す。水温15℃で7日間、積算温度100℃で、含水率20～25%が目安。
2.催芽	催芽器を使って32℃、約20時間で催芽する。鳩胸(ハトムネ)から1mmまでの発芽とする。
3.陰干し・脱水	発芽が揃ったら(遅れないように)、水切り、または広げて陰干しをします。
4.育苗箱の準備 床土詰め	育苗箱を消毒し、底に新聞紙か育苗用シートを敷いて、床土を1枚当り3.5ℓ、深さ2cm程まで入れる。定規で箱の上から1cmに均平にならしてください。
5.灌水	床土の上からたっぷりと、箱の下にしみて、水が浮き上がるまで灌水します。 (20～30℃のぬるま湯)
6.播種	<p>播種機で種粒を蒔きます。1箱当り播種量は、1合2勺(催芽粳130g)以下の薄蒔きにすると、軸の太い充実した苗ができます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>1合4勺蒔き(催芽粳150g)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>1合2勺蒔き(催芽粳130g)</p> </div> </div>
7.覆	種粒が隠れる程度に覆土します。覆土の厚さは5mmほど。覆土したら灌水はしません。

D 育苗

1.育苗器へ	育苗器に育苗箱を積重ねます。温度ムラがないように、箱の間隔を十分に保ってください。																
2.育苗の温度 (20日苗の場合)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>昼間の適温</th> <th>夜間の適温</th> <th>必要日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出芽期</td> <td colspan="2">28～31℃</td> <td>3日</td> </tr> <tr> <td>緑化期</td> <td>20～25℃</td> <td>12～18℃</td> <td>2～3日</td> </tr> <tr> <td>硬化期</td> <td>15～20℃</td> <td>10～15℃</td> <td>10～15日</td> </tr> </tbody> </table>		昼間の適温	夜間の適温	必要日数	出芽期	28～31℃		3日	緑化期	20～25℃	12～18℃	2～3日	硬化期	15～20℃	10～15℃	10～15日
	昼間の適温	夜間の適温	必要日数														
出芽期	28～31℃		3日														
緑化期	20～25℃	12～18℃	2～3日														
硬化期	15～20℃	10～15℃	10～15日														

